

SAFETY CHARGER[®]
タブレット充電収納保管庫
SWB-22S
取扱説明書

—第6版—

ご使用前に必ずお読みください

このたびは、当社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は、この製品を安全にご使用していただくために、使い方と使用上の
注意事項について記載しています。重要な内容ですから、必ずお守りください。
なお、この説明書は紛失しないように大切に保管してください。



LION

取扱説明書

安全上のご注意 (必ず守っていただくようお願いいたします)

⚠警告 この注意事項を守らなければ、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意 この注意事項を守らなければ、傷害または物的損害を負う可能性があります。

⚠警告

- 分解・改造をしてはいけません。故障、火災、感電の原因となります。
点検、調整、修理に関しては、弊社までご連絡ください。
- 本体の中に危険物・異物・水を入れしないでください。故障、火災、感電の原因となります。
機械内部に水等が入ってしまった場合、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて弊社までご連絡ください。
- 煙が出る、異臭・異音がする場合は、機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、弊社までご連絡ください。
異常状態で機器を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
- 不安定な場所（振動が激しい場所・不安定な机の上等）に機器を置かないでください。
倒れたりすると故障、けがの原因となります。
- コードの取り扱いは十分に注意をしてください。被膜の損傷や故障を招くだけでなく、ショートや断線によりコードが加熱されると、火災や感電の原因となります。
 - ・電源コードを無理に曲げる、ねじる、束ねる、はさむなどの行為をしないでください。
 - ・コードの上に機器本体や重いものを置かないでください。
 - ・電源プラグはほこりや水滴がついていないことを確認し、根元まで差し込んでください。
- 濡れた手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。
- 雷が発生しそうなときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、雷が鳴りだした場合は、電源コードや機器等に触れないでください。感電の原因となります。
- 身体に異変が出た場合は直ちに使用をやめて、医師にご相談ください。機器使われる塗料や金属などにより、かゆみやアレルギーなどの症状が起こることがあります。
- 廃棄する時は専門業者におまかせください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

<健やかな空気質の確保を目指して換気励行のお願い>

ここに述べる注意事項は、使用者皆様の健康阻害を防ぐため、極めて重要です。購入以後のご注意事項ですから、使用者の皆様には是非お守りいただくよう宜しくお願い申し上げます。

1. 製品購入時の注意事項 購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。暫くの間は、換気や通風を十分に行うよう心掛けてください。室内の換気が十分に行われないと室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。
2. 温度や湿度の変化による換気の励行室内が著しく高温多湿となる場合(温度 28℃、相対湿度 50%超が目安)には、窓を閉め切らないようにするか、強制換気を行って下さい。室内化学物質濃度が高まり、健康に影響を及ぼすことがあります。

⚠注意

- 開いた扉に手などで力を加えないでください。本体が倒れてけがをすることがあります。
- 本体の上に乗らないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 手を扉のまわりにつけたまま開閉しないでください。手をはさんでけがをすることがあります。
- 可動部のすきまに手を入れないでください。けがをすることがあります。
- 耐荷重以上に収納しないでください。棚板や引出しが落下してけがをすることがあります。(棚板耐荷重 20kg)
- 天板の外縁部に耐荷重以上の物を乗せないでください。天板のたわみによって落下することがあります。(耐荷重 100kg まで)
- 貴重品を入れないでください。鍵前を破壊されて盗まれることがあります。
- 乱暴な取り扱いや、用途以外には使用しないでください。故障や破損、事故の原因になります。
- 製品に貼ってあるシールは絶対にはがさないでください。誤った使い方や事故を防止するためのものです。
- ボルトやねじのゆるみによるガタツキが生じたときは、はやめに締め直してください。ゆるんだままで使うと、本体の破損や転倒などでけがをすることがあります。
- 火のそばに近づけて使用しないでください。火災になることがあります。

■ご使用上の注意

- お子様が近くにいる時は離れないようにしてください。
小さな部品の誤飲や、お子様が機器に乗ってしまうなど、けがの原因になることがあります
- 長期間使用しない場合は、安全及び節電のため、接続コードを外して保管してください。
- 機器の取付け、取り外し、移動の際は必ず電源を切り、接続コード類をすべて外してから行ってください。
コードを抜かずに行くと、故障、感電の原因となります。
- この製品は室内または屋内用です。屋外や水のかかる所などでは使用しないでください。サビや故障、変色の原因になります。
- この製品を設置されるときは、本体が水平を保つように調整を行ってください。水平が保たれないまま設置されますと、本体のゆがみや可動部の作動不良、施錠不良など、ご利用の際に支障をきたす恐れがあります。
- この製品を第三者に貸したり、譲渡される場合は、この取扱説明書を必ず添付し、取り扱い方法を十分に説明してください。
- 天板に熱いものを直接置かないでください。跡が残ることがあります。
- 機器に触れる際は静電気にご注意ください。本製品は電子機器です。静電気を与えることで、誤作動や故障の原因となる場合があります。

■設置場所の注意

以下のような場所には機器を置かないでください。故障、火災、感電の原因となります。

- ガスレンジ、フライヤーの近くなど油煙がつきやすいところ
- 高温度の熱源、炎が近いところ
- 金属粉、セメントなどの粉塵、ほこりが多いところ
- 浴室、温室など、湿気の多いところ、雨や水しぶきのかかる場所
- 有機溶剤を使用しているところ、腐食性ガスのある場所
- 食品工場、調理場など、油、酢、揮発したアルコールが立ち込める場所
- 強い磁気や電磁波が発生する場所
- 直射日光のあたる場所

設置の際はけがなどに注意し、安全を確認して行ってください。

■筐体部主要部品の材質

- 本体・扉---スチール
- 引手---ABS樹脂
- ラッチ爪---ポリカーボネート樹脂
- キャスター---ナイロン樹脂
- 窓---ポリカーボネート樹脂
- 天板(芯材)---パーティクルボード
- 天板(表面)---メラミン化粧板
- 天板(縁材)---ABS樹脂。

■JOIFA 標準使用期間について

消費者生活用製品安全法が改正され特定の製品には「設計標準使用期間」の表示が義務づけられました。オフィス家具は対象ではありませんが、JOIFAでは経年劣化による事故を防止し安全にお使いいただくため「JOIFA標準使用期間」を設定しました。該当製品には構造部分の経年劣化が予想される年数をラベルで表示し注意喚起しますのでご理解いただきますようお願い申し上げます。

■保証について

お使いの製品が取扱説明書、本体記載の注意ラベル等による正常なご使用状態のもとで不具合が発生した場合、下記の保証期間をご参照のうえ、お買上げの販売店までご連絡ください。

- 保証期間 保証期間は(一社)日本オフィス家具協会のガイドラインに準拠して、お買上げの日から下記の年限とさせていただきます。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - ・火災、天災による故障または破損。
 - ・改造や不当な修理または使用者の責任に帰すると認められる故障または損傷。
- 保証期間外の修理につきましては、その機能が維持出来る場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。

1年保証	外観・表面仕上げ 充電制御ユニット部	塗装及び樹脂部品の変・褪色、レザー・クロスの摩耗
2年保証	機構部・可動部	引出し・スライド機構・扉の開閉・錠前・昇降機構の故障
3年保証	構造体	強度・構造体に係わる破損

■免責

本書の内容に関しては万全を期して作成しておりますが、ご不明な点等がございましたら弊社までお問い合わせください。また、前述に関わらず、以下の事柄について弊社は一切の責任を負いません。

- (1) 本製品によりもたらされる直接的・間接的な効果および利益の損失
- (2) 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。
これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害など
- (3) 本製品のために費やした時間・経費
- (4) 弊社の責任によらない本製品の損傷・破損または改造による故障・不具合など
- (5) 本製品を使用して生じたデータの消失・破損
- (6) 本製品を使用して生じたいかなる結果、直接的な機器の異常およびその他の異常

■ご注意

- ・本製品および本製品のマニュアル内容の一部または全部を弊社の承諾なしに複製することはできません。
- ・本製品は将来改良のため予告なく変更を行う場合があります。
- ・本書の内容について不審な点、お気づきの点等がございましたら、弊社までお問い合わせください。

■商標について

本書に記載の社名および製品名は各社の商標又は登録商標です。

■お問い合わせ先

製品に関するご質問は、各製品の本体内に貼付けしたシールの品番・製造番号をご確認のうえ 購入店または下記のお客様相談室にお寄せください。

お客様相談室 / TEL 0120-074-416 FAX 0120-402-539

JOIFA620

この番号は、一般社団法人日本オフィス家具協会(J O I F A)における会員登録番号です。オフィス家具の資源・廃棄問題・リサイクル・P L問題など商品が社会に負う責任体制として、番号を表示しています。

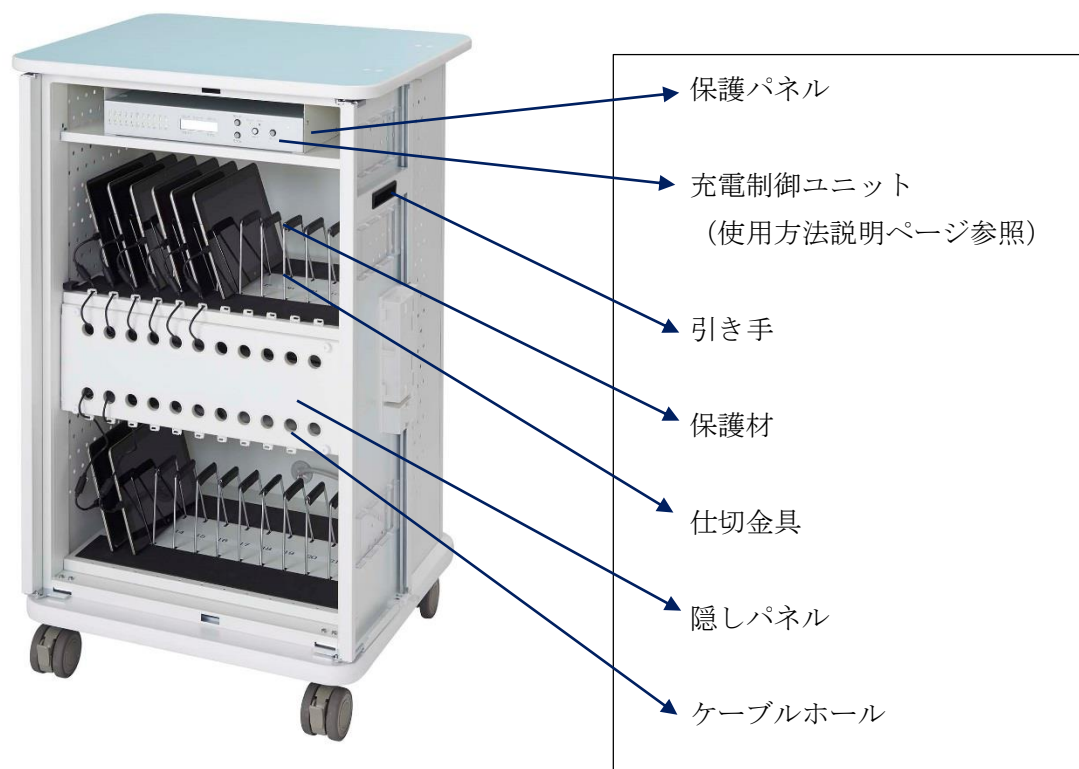
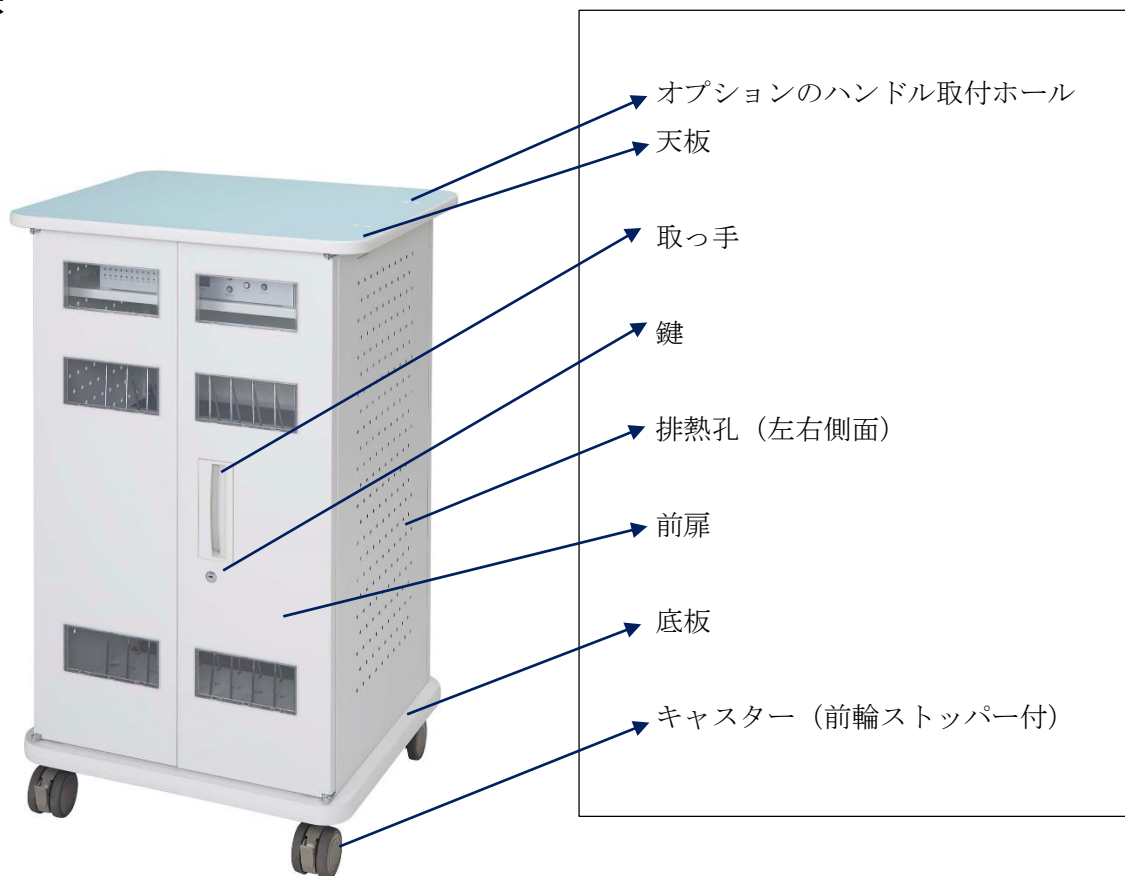


目次

<u>安全上のご注意</u>	2～5
<u>各部の名称</u>	7～8
<u>運用準備</u>	
【開扉、扉固定】	9
【主電源用の電源ケーブルの接続方法と主電源スイッチ】	9
【アダプターの隠しパネルとアダプター重ね置き用棚板】	10
【充電アダプターの接続】	10～11
【タブレット等充電対象端末の搭載】	12
【収納庫の固定、及び移動】	12
【扉の施錠】	12
<u>使用方法</u>	
【操作パネルと充電モードについて】	13
【モード説明】	14
【電流値の閾値の設定】	15～18
【充電方法】	19～20
【充電ステータス LED について】	20
【タイマー予約設定方法】	21～22
【キーロック（誤操作防止機能）について】	23
【停電後の自動復帰について】	24
【システムセットアップについて】	25
【ミックス設定】	26～27
【日付・時刻の変更】	28
【パラメータ設定について】	29
【対応端末確認】	30
【こんな時は・・・】	31
<u>仕様</u>	32
<u>運用設定記録シート</u>	33
<u>パラメータ設定記録シート</u>	34
<u>ミックス設定記録シート</u>	35
<u>保証書・保証登録のお願い</u>	別紙

各部の名称

●本体

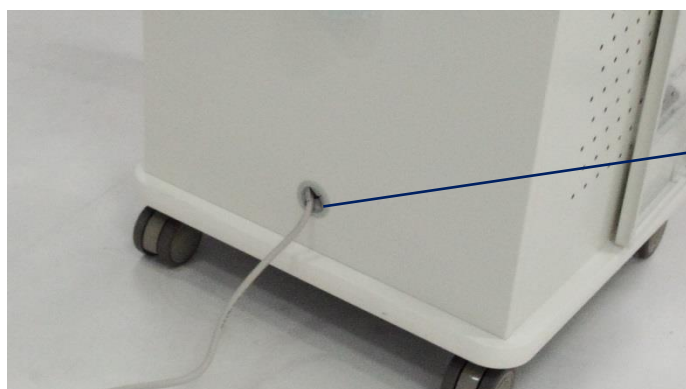


●隠しパネルを外した内部



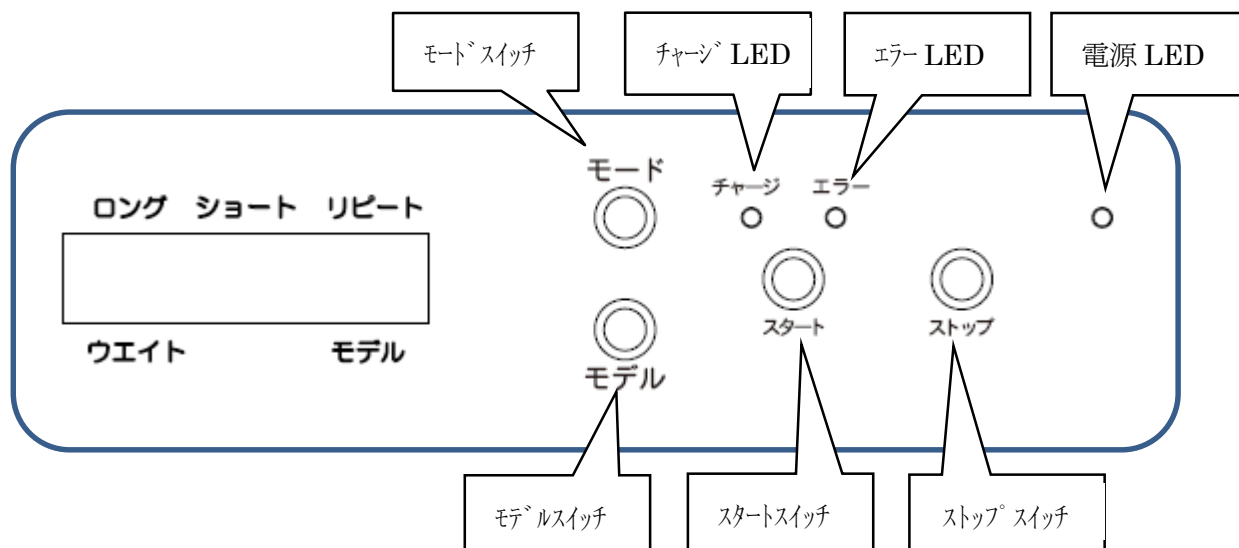
- アダプタ接続コンセント
- 重ね置き用の棚板 (アダプタが収納部で重なりあう場合に使用)
- ケーブルクリップ (上下全 22 個)

●背面



→ 背面ケーブルホール

●充電制御ユニット 操作部 名称



運用準備

充電収納庫内の利用準備を始めるにあたって、扉を開けて出荷時に仮止めしてあるテープをはがします。

●下記同梱品を確認してください。

名称	数量	備考
鍵	2 個	本体扉用
電源ケーブル	1 本	2m
重ね置き用の棚板	1 つ	アダプター収納部にテープ止めされています。
保証書・保障登録のお願い	1 枚	両面
注意喚起シール	2 枚	必要に応じて、底板部分に貼ってください。

●開扉、扉固定

- ・開扉時は扉を押さえたままラッチを手前に引き、引いた状態で扉をゆっくり開けてください。
- ・開けた扉は本体側面に埋め込まれたマグネットにより側面に固定することができます。
- ・設定時及び運用時（端末の出し入れの時）は側面に扉を固定して安全を確保してご利用ください。

●主電源用の電源ケーブルの接続方法と主電源スイッチ

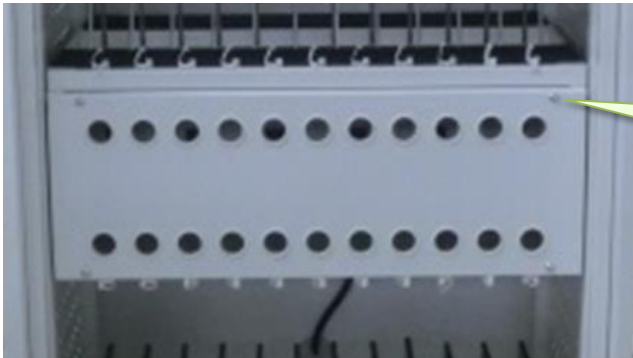
- ① 同梱の主電源ケーブルを本体背面底部のケーブルホール外側から本体内部に 30cm ほど引き込みます。
- ② 引き込んだケーブルを本体底部右奥の主電源コネクタに接続します。接続ができれば、主電源ケーブルをコンセントに接続して本体内の主電源コネクタ上部にある主電源スイッチをオンにして、充電制御ユニットに通電することを確認してください（電源 LED が点灯します）。
- ③ 通電が確認できれば、主電源スイッチをオフにします。



●アダプターの隠しパネルとアダプター重ね置き用棚板

充電アダプターを接続するコンセントパネルはアダプターの隠しパネルに覆われていますので、この隠しパネルを取り外します。取り外しは四隅にあるネジを手で回して外すことができます。

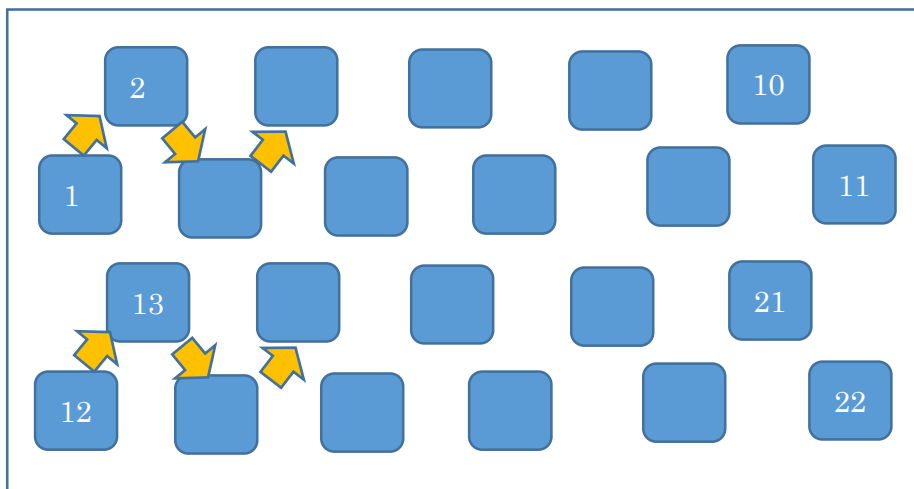
取り外し後、コンセントパネルの前にアダプター重ね置き用の棚板がテープで借り止めされているので、テープをはがして棚板を取り除きます。



四隅のねじを外し
隠しパネルを外す

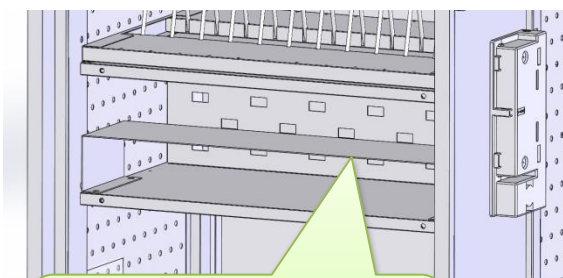
●充電アダプターの接続

コンセントパネルには下図の様に 1,2,10,11,12,13,21,22 のコンセントの番号が貼られています。千鳥配列のコンセントの番号は矢印の順に 1 から 22 まで制御ユニットの充電ステータス LED に連動します。

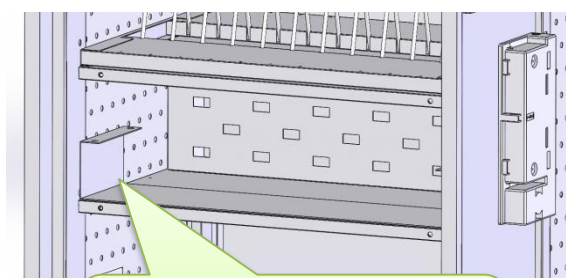


1～11 までのコンセントは上段の端末収納棚用となり 12～22 までのコンセントが下段の端末収納棚用のコンセントです。接続するアダプターをコンセントに接続してください。

※ご利用になるアダプターの大きさよっては、22 台分のアダプターが重なってしまう恐れがありますので、その場合は重ね置き用の棚板を使用してなるべくアダプター同士が直接重ならない様な収納を推奨します。



重ね置き用の棚板を活用し
2 段に分けて使用する場合

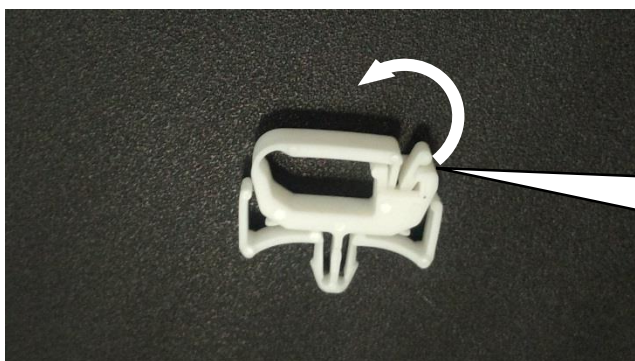


重ね置き用の棚板を使用しない
場合は逆さに向けて収納

充電ケーブルは、隠しパネルの内側からケーブルホールに通して端末の収納位置番号とコンセント番号を合わせてケーブルクリップに固定してください。



*ケーブルクリップに充電ケーブルを固定する方法



クリップの爪の部分に指の爪を引っ掛けて、矢印の方向に引いてください。ロックが外れます。

ロックが外れたら、その隙間から充電ケーブルを通してケーブルクリップをロックします。

接続する充電アダプターを全てセットできたら、隠しパネルで塞いで固定してください。

※充電用のアダプター以外は接続をしないでください。

●タブレット等充電対象端末の搭載

端末収納部の1箇所あたりの有効寸法は幅 35mm、奥行き 466mm、高さ 264mmです。充電用のコネクタが前面または上部にくるように置いてください。

●収納庫の固定及び移動

- ・ 収納庫にアダプター等の接続が完了し、設置場所に本体を移動したら、キャスター前輪のストッパーを STOP（レバーを下にさげる）の状態にして動きにくいようにしてください。
- ・ 筐体両側面の排熱用の穴は庫内の熱を外部へ逃がす為のもので、絶対に塞がないでください。設置場所にもご配慮ください。
- ・ 移動時は、充電していないことを確認し、主電源ケーブルをコンセントから抜いてください（充電中にコンセントを抜くとタイマー表示がクリアされます）。必ず前扉を閉め扉が固定されていることを確認してから、ストッパーを FREE（レバーを上にあげる）の状態にして二人でゆっくり移動させてください。

※移動の際、側面底板には絶対に足をかけないでください。

●扉の施錠

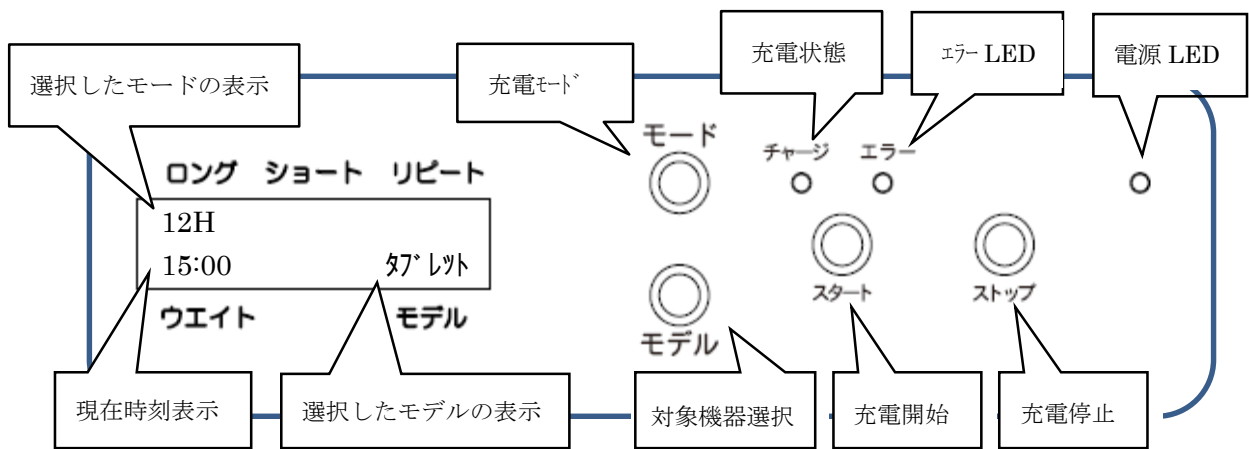
- ・ 鍵は右に 180 度回転すると施錠され、左に 180 度回転すると解錠します。施錠・解錠状態を鍵の表示窓で色表示します。
- ・ 端末を収納している際は、盗難等の事故防止の為にも、施錠することをお勧めします。
- ・ 鍵は 2 個添付されています。必ず別々に保管してください。

施錠状態 解錠状態

表示窓 (赤色)   表示窓 (青色)

使用方法

【操作パネルと充電モードについて】



名称	説明		補足	
電源 LED	緑点灯で装置の電源が入っています。			
ストップ	充電停止／充電ステータス LED の消灯／タイマー予約設定		5 秒間長押し	
スタート	充電開始／タイマー予約開始			
モード	充電モードの選択 9 種類から選択してください。	ロング	無制限	24 時間対応の現場向けです。 長時間の充電時に使用します。
			12 時間	
			10 時間	
			8 時間	
			6 時間	
		ショート	3 時間	昼休みなど、1～3 時間内の充電に使用します。
			2 時間	
			1 時間	
		リピート		長期休暇等、長期間の保管時に使用します。
モデル	充電を行う対象端末の選択 4 種類から選択してください。	タブレット	AC アダプタ MAX 12W	
		スマートフォン	AC アダプタ MAX 5W	
		タブレット PC	AC アダプタ MAX 36W	
		モバイル	AC アダプタ MAX 50W ノート PC 等	
		端末の種類が混載している場合	ミックス	
ウエイト	現在時刻表示／充電時間の残時間表示			
チャージ	緑点滅：充電中 / 緑点灯：充電終了 / 消灯：待機中			
エラー	充電エラー発生時 赤点灯または赤点滅 赤点灯：過電流(800mA/AC100V)の検出 赤点滅：急速充電時間超過(連続 6 時間以上)			

【モード説明】

●ロングモード

基本のスイッチバック充電を行うモードです。

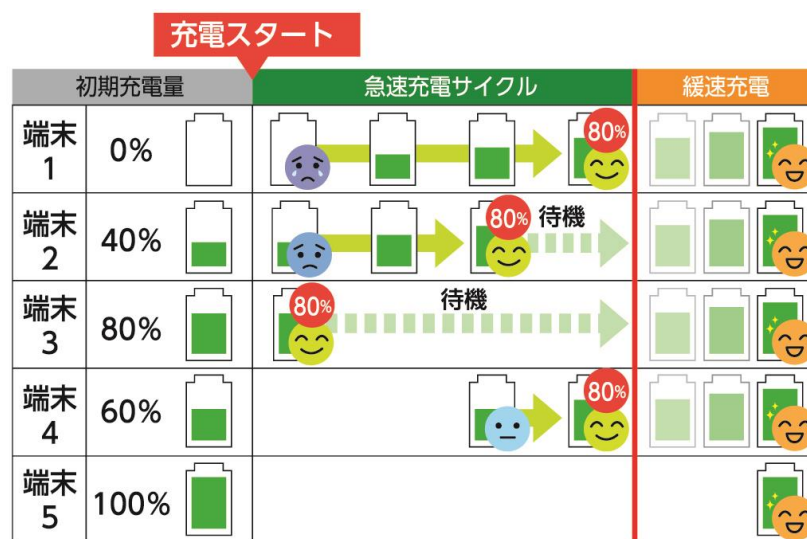
4、6、8、10、12 時間、無制限の設定の中から、時間を選択してください。

*スイッチバック充電とは

充電開始時にすべての端末の充電残量を検知し、設定した電力の範囲内で充電残量が 80%以下の端末から優先的に急速充電を行います（下図の場合、端末 1 と 2 を最初に 80%まで急速充電をします）。

充電している端末が 80%充電完了したところで、一時中断して待機状態となり、他の 80%未満の端末（下図の場合は端末 4）への急速充電を開始します。

全端末が 80%充電完了すると緩速充電を開始し、全端末を 100%充電状態にします。既に 100%充電の端末には充電を行いません（過充電を行うことはありません）。



《注意》

- ・充電中にアプリの更新やダウンロードが作動した場合、充電が正常に動作しない場合があります。
- ・端末本体の充電量表示が、実際の充電量と多少の誤差が生じている場合がありますので、80%での緩速充電は多少のぶれが生じる場合があります。種類の異なる複数の端末を混載して同時に充電を行う場合は、「ミックス設定」を行ってください（詳細は P26 をご参照ください）。

●ショートモード

全端末を同程度の残充電量にすることを最優先に充電を行うモードです。

1、2、3 時間の設定の中から、時間を選択してください。

*ショートモードの充電方式

充電開始時にすべての端末の充電残量を検知し、設定した時間内で端末の充電残量が揃うように、自動的に充電時間を調節します。

※端末の充電残量によっては、すべての端末が 100%充電されない場合があります。

●リピートモード

毎日 24 時間に 1 回スイッチバック充電を行い、全端末を 100%まで充電を行うモードです。

長期休暇等、長期間端末を使用せずに保管して置く場合に使用してください。

過放電によるバッテリーのダメージを軽減します。

【電流値の閾値の設定】

はじめに、各モデルごとに電流値の閾値の設定します。

初期値の設定はありますが、実際にご使用になる端末の充電量 80%時の電流値および満充電時の電流値を計測した値をパラメータ設定で登録していただくことで、効率の良い充電が可能になります。

● 電流値の計測

< 準備 >

充電する下記の端末を用意してください。

※異なる種類の端末を同時に充電する場合は、種類分用意してください。

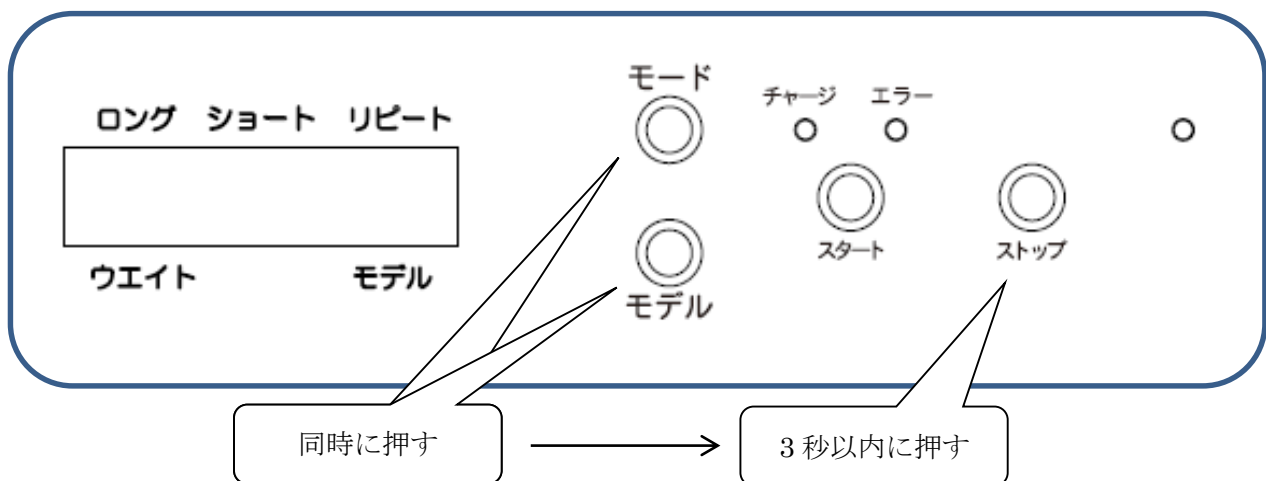
- ・ 充電量が 80%未満の端末 1 台 (できるだけ充電量が少ない状態を使用することを推奨します。)
- ・ 充電量が 85%前後の端末 1 台
- ・ 満充電済みの端末 1 台

① 主電源スイッチを入れる

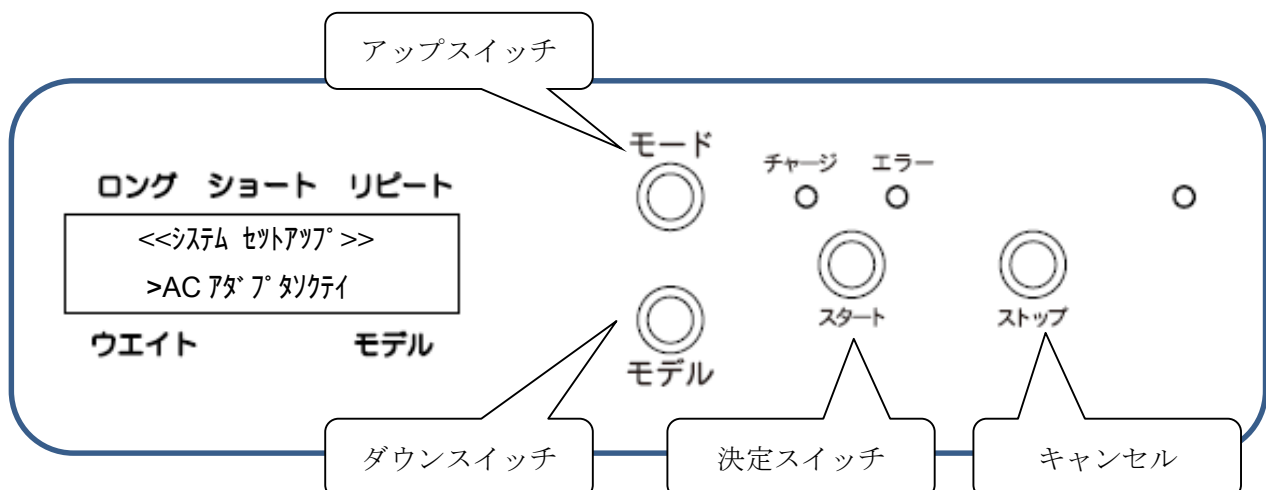
電源 LED が緑点灯していることを確認してください。

② システムセットアップ画面へ移行する

充電制御ユニットのモデル+モードスイッチを同時に押し、3秒以内にストップスイッチ押してください。

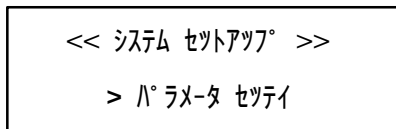


● システムセットアップ画面の操作スイッチについて



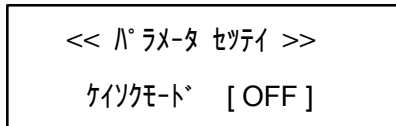
③ パラメータ設定画面へ移行する

ダウンスイッチ（モデルスイッチ）を押して「パラメータ セッテイ」が画面に表示されている状態で決定スイッチ（スタートスイッチ）を押す。



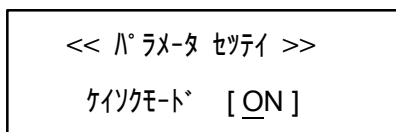
④ 計測モードを選択する

ダウンスイッチを数回押して「ケイックモード」 [OFF] が画面に表示されている状態で決定スイッチを押す。



⑤ 計測モードを ON にする

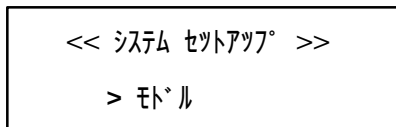
「ケイックモード」 [OFF] の表示にカーソルが表示されるので、ダウンスイッチを押して [ON] に変更し、決定スイッチを押す。



⑥ 初期画面に戻る

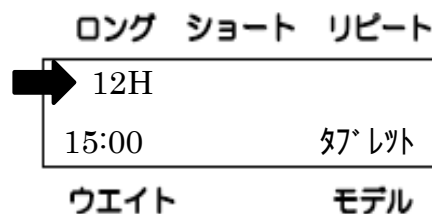
計測モードが ON で確定されたことを確認し、キャンセル（ストップスイッチ）押してパラメータ設定画面に戻ります。

ダウンスイッチを数回押して「モデル」が表示されている状態で決定スイッチを押すと、初期画面に戻ります。



⑦ ロングモードで充電をスタートさせる

「ロング」の下に時間が表示されている状態になっていることを確認してください。他のモードになっている場合は、モードスイッチの1秒程度長押しを数回行い、ロングモードに変更してください。

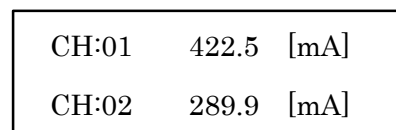


⑧ 電流計測をする

準備した計測する端末をコンセントに接続し、スタートスイッチを押し、充電を開始します。

約2分後に、画面に各コンセントポートに流れている充電量を1番から順に表示します。

表示された値をもとに、パラメータ設定を行うので、それぞれの電流値はメモをしておいてください。



⑨ 充電を停止する

電流値を計測できたら、ストップスイッチを5秒程度長押しし、充電を停止させてください。

※計測が終了したら、②～⑤の手順を再度行い、計測モードを OFF にしてください。

⑩ 電流の閾値のパラメータ設定を行う

②・③の手順を再度行い、パラメータ設定画面を表示します。

ダウンスイッチを数回押し、充電する端末のモデルのL・M・Sの値を変更します。

《例：タブレットの場合》

i. タブレットLの閾値を設定する

「タブレットL 270[mA]」が画面に表示されている状態で決定スイッチを押します。

<< パラメータ セッテイ >>

タブレットL 270 [mA]

電流値の部分にカーソルが出てくるので、充電量が80%未満の端末を計測した値を、超える電流値に設定してください。(例) 充電量が80%未満の端末の計測値が422.5mAだった場合、430mAにする
※アップスイッチ・ダウンスイッチを押して数字を設定し、一桁ずつ決定スイッチを押して設定します。

1の位で決定スイッチを押すと、設定が完了し、カーソルが消えます。

<< パラメータ セッテイ >>

タブレットL 470 [mA]

ii. タブレットMの閾値を設定する

タブレットLの設定が完了したら、再度ダウンスイッチを数回押し、「タブレットM 200[mA]」が画面に表示されている状態で決定スイッチを押します。

<< パラメータ セッテイ >>

タブレットM 200 [mA]

iと同様の手順で、充電量が85%前後の端末を計測した値を、超える電流値に設定してください。

(例) 充電量が85%前後の端末の計測値が289.9mAだった場合、295mA～300mAにする

※ここで、350mA等あまり差を大きく設定しすぎると、80%未満で緩速充電になってしまう可能性があります。

<< パラメータ セッテイ >>

タブレットM 300 [mA]

iii. タブレットSの閾値を設定する

タブレットMの設定が完了したら、再度ダウンスイッチを数回押し、「タブレットS 050[mA]」が画面に表示されている状態で決定スイッチを押します。

<< パラメータ セッテイ >>

タブレットS 050 [mA]

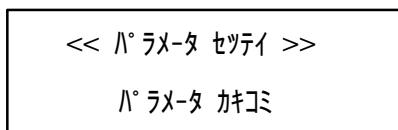
iと同様の手順で、満充電の端末を計測した値を、超える電流値に設定してください。

(例) 満充電の端末の計測値が45.2mAだった場合、50mAにする

※ここで、100mA等あまり差を大きく設定しすぎると、100%未満で充電が停止しまう可能性があります。

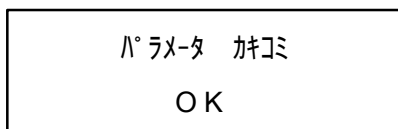
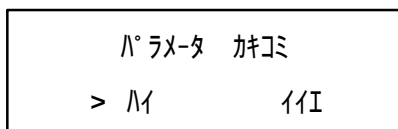
⑩ パラメータの書き込みをする

L、M、Sの閾値を設定したら、再度ダウンスイッチを数回押し、「パラメータ 書き込み」が画面に表示されている状態で決定スイッチを押します。

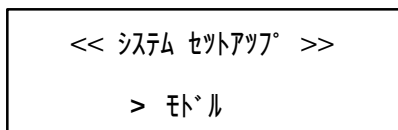


下記のような確認画面が表示されます。

「ハイ」にカーソル>を合わせて、スタートスイッチを押すと、「OK」のメッセージが表示され、パラメータの設定は完了です。



※設定後は、システムセットアップメニューの選択する画面に戻るので、モデルを選択して待機画面に戻ってください。



※端末の種類を混載して充電を行う場合は、⑩の作業を混載するモデル分行った上で、ミックス設定（詳細は p26～参照）をしてください。

【充電方法】

端末の充電方法を、次の手順で行います。

① 端末を収納しケーブル接続

※Windowsの端末を充電する場合は、必ずシャットダウンしてください。(いつまでも満充電にならない可能性があります。)

② モデルスイッチの長押しでモデル選択

”モデル”表記の上部にモデルの名称が表示されるので、モデルスイッチを複数回押して、タブレット、スマートフォン、タブレットPC、モバイル、ミックスの5種類の中から充電対象の端末名称を表示してください。種類の異なる複数の端末を混載して同時に充電を行う場合は、「ミックス」を選択してください。

※ミックスに関する詳細はP26【ミックス設定】をご参照ください。

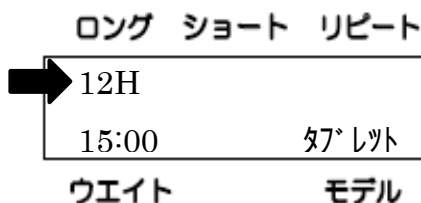
※モデルの対応は、P30の一覧表を参考にしてください。



③ モードスイッチの長押しでモード選択

ロングとショートとリピートの表示の下部にそれぞれ選択できる時間が表示されるので、モードスイッチを押してモードと時間を選択してください。(ロング無制限は「—H」リピートは「■」表示です)

※下図は、ロング12時間モードを設定した画面です。



④ タイマー予約 (設定方法はP21~参照)

充電を開始する時刻を予約できます。

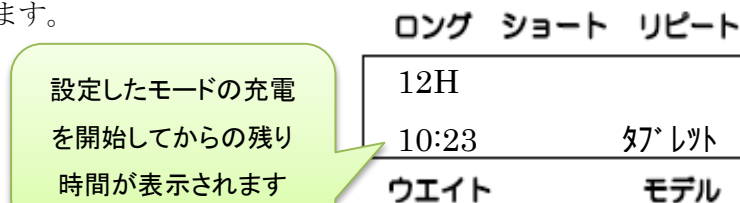
タイマー予約設定を行うと、自動で指定時刻から充電を開始し、モードで設定した時間が経過すると自動で充電が終了します。(ロング無制限の場合は自動で終了しません)

※タイマー予約をせずに充電を開始することも可能です。その場合は⑤へ進んでください。

⑤ スタートスイッチを押す

設定したモードで充電を開始します。(チャージLEDが点滅します)

※スタートスイッチを押した直後は全端末の充電状況を検知するため、充電開始まで少々時間がかかります。



⑥ ストップスイッチを長押し（約 5 秒）

充電を停止します。

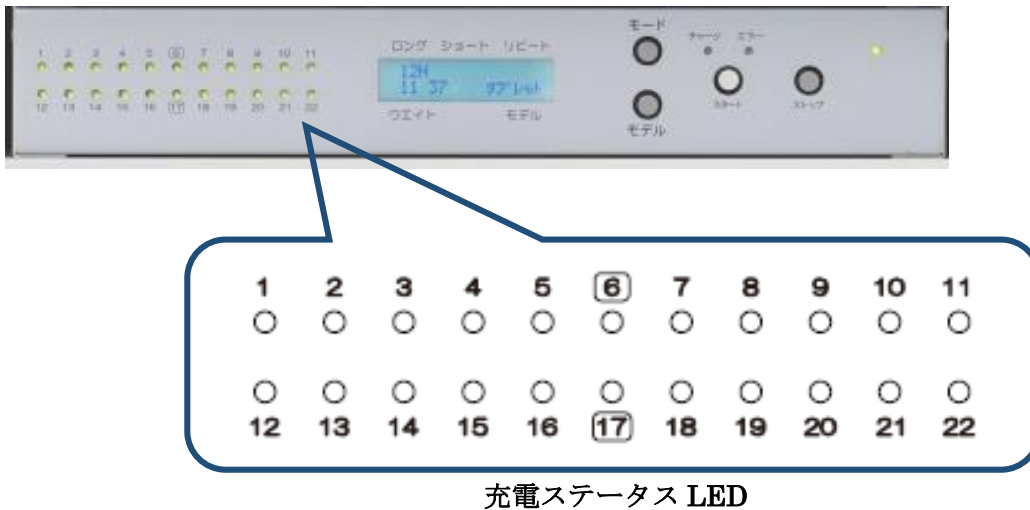
※タイマー予約せずに充電を開始した場合、ストップスイッチを押して停止させない限り、モード設定した時間を超えても充電を継続します。自然放電によって充電が 100%未満になった場合、その端末へ再度 100%まで充電を開始します。ただし、過充電防止のため、ロングモードで充電を行った場合は、設定時間の倍の時間が経過すると、自動的に充電を停止します。

設定時間を超えて充電を続けている場合、残り時間の表示は、－（マイナス）表示で継続されます。

◆充電開始した選択モード及び選択モデルは制御ユニットに記憶され、再起動時にはその設定で起動しますので、次からはスタートスイッチを押すだけで、直前に設定したモードとモデルで充電を開始いたします。

【充電ステータス LED について】

充電制御ユニットの左部分にある 22 個の LED は、接続されている各端末の状況を示します。



充電ステータス LED

●充電ステータス LED は端末の状況により、次のようになります。

端末の 状態	0~80%	80~100%	100%	端末 未接続	充電エラー 発生時
LED の 状態	緑高速点滅	緑低速点滅	緑点灯	消灯	赤点灯/赤点滅

※充電時、充電残量が 0~80%の時は急速充電、80~100%の時は緩速充電を行います。

●充電ステータス LED の表示

製品の 状態	待機状態	充電中	充電の終了、停止中
LED の 状態	全て消灯	個別に変化	停止時の LED 表示を保持

※充電動作を停止した後も停止時の LED 表示を保持するので、その時点での端末充電量を確認できます。

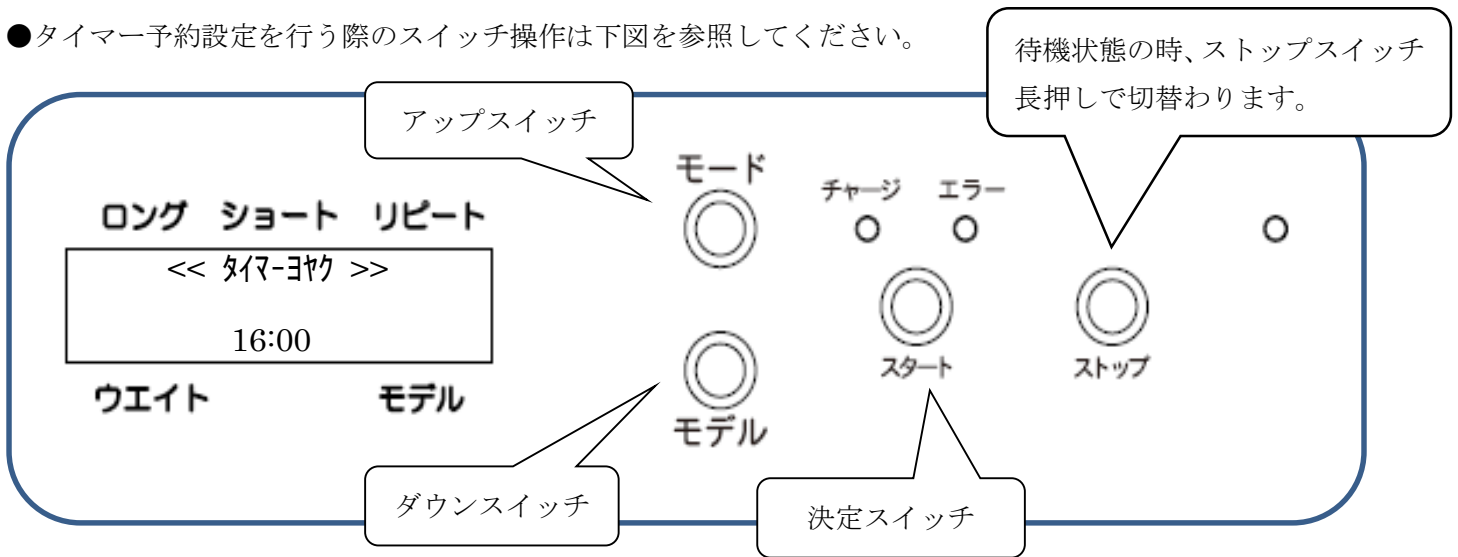
充電動作終了後のステータス LED を消灯させるには、もう一度ストップスイッチを押してください。

【タイマー予約設定方法】

充電を開始する時刻をタイマー予約できます。

タイマー予約を使用すると、残り時間が 00:00 になった時点で充電は自動停止します。

●タイマー予約設定を行う際のスイッチ操作は下図を参照してください。

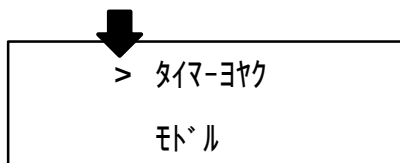


充電開始時間の予約設定を、次のような手順で行います。

① タイマー予約画面への切替

待機状態（チャージ LED が消灯）の時、ストップスイッチを長押しします。

下図の画面が表示されるので、> のマークが **タイマー予約** の位置にあることを確認し、スタートスイッチ（決定）を押します。

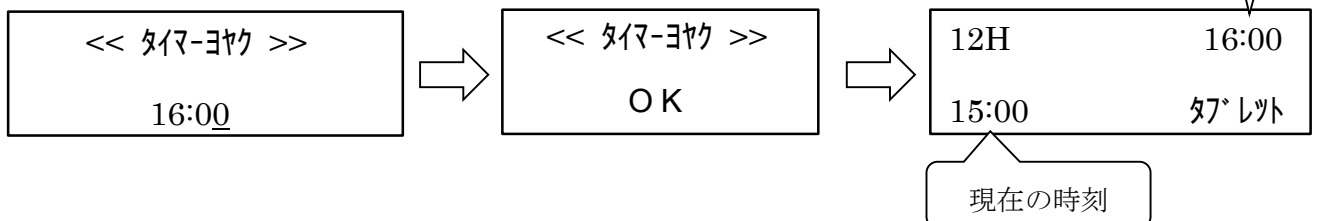


② 予約したい時刻の設定

カーソル上の時刻を、モード/モデルスイッチを使い、アップ/ダウンをします。

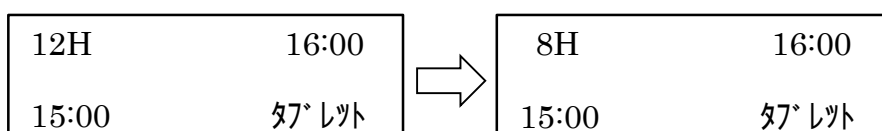
スタートスイッチを押すことで決定・カーソル移動します。

カーソルが一番右にある状態でスタートスイッチ（決定）を押すと、**タイマー予約 OK** の画面がでた後、設定した時刻が右上に表示されます。



③ モードの設定

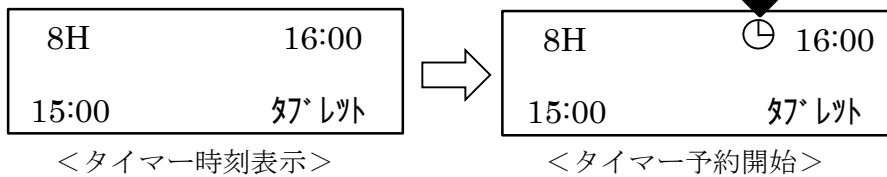
モードを変更する必要がある場合は、モードスイッチを長押しして、充電モードを変更します。



④ 予約確定

再度スタートスイッチを押して、予約開始（時計マーク表示）になります。

※時計のマークが出ていないと予約は完了していません。



⑤ 充電開始

予約した時刻になると、設定したモードで自動的に充電を開始します。（チャージ LED が点滅します）

充電が開始すると、画面の表示は下図のようになり、左下に残り時間、右上にタイマー予約の設定時間が表示されます。

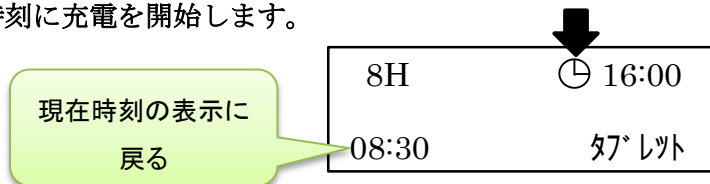


⑥ 充電停止

タイマー予約を使用して充電を行った場合、設定したモードの時間が経過すると、自動的に充電が停止します。（チャージ LED は点灯）この時、充電ステータス LED は、充電を停止した際の充電残量の状態（P16 参照）を維持します。

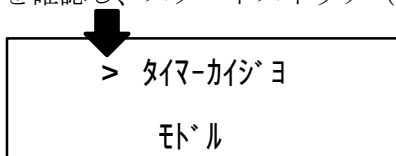
ストップを長押しすると、チャージ LED と充電ステータス LED はすべて消灯します。

※画面は以下のように予約確定後の画面（時計マークがついた状態）になるので、そのままにしておけば、翌日同じ時刻に充電を開始します。



● タイマー予約の解除を行う場合

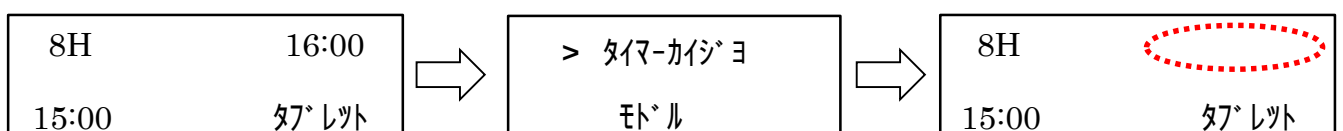
ストップスイッチを長押しすると、下図の画面が表示されるので、> のマークが **ﾀｲﾏｰｶｲｼﾞｮ** の位置にあることを確認し、スタートスイッチ（決定）を押します。



※タイマー予約の状態ですらタイマー解除を行うと、時計マークが消えた画面表示に戻ります。

● 予約時刻の変更を行いたい場合

時計マークが消えた画面から、再度ストップスイッチを長押ししてタイマー解除を行います（予約設定時刻の表示が消えます）。



再度、スタートスイッチを長押しして、①からやり直してください。

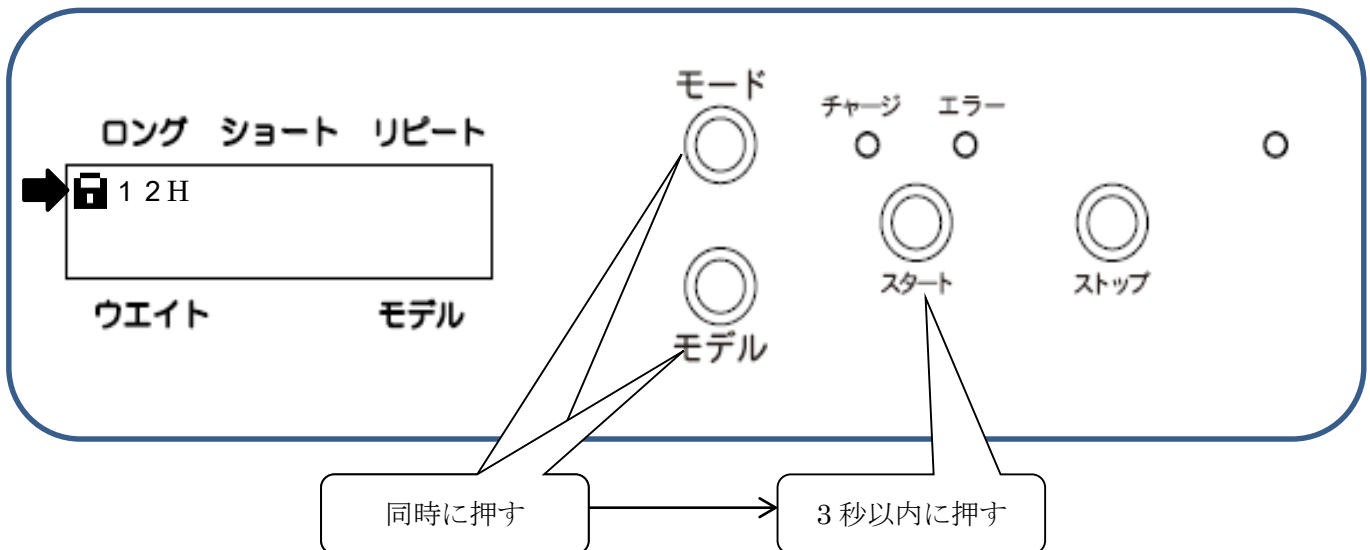
【キーロック（誤操作防止機能）について】

管理者以外の方が勝手にキー操作を行うのを防止することができる機能です。

●キーロック（誤操作防止機能）を有効にする方法

待機状態（チャージLED消灯）で、モデル+モードスイッチを同時に押し3秒以内にスタートスイッチを押してください。

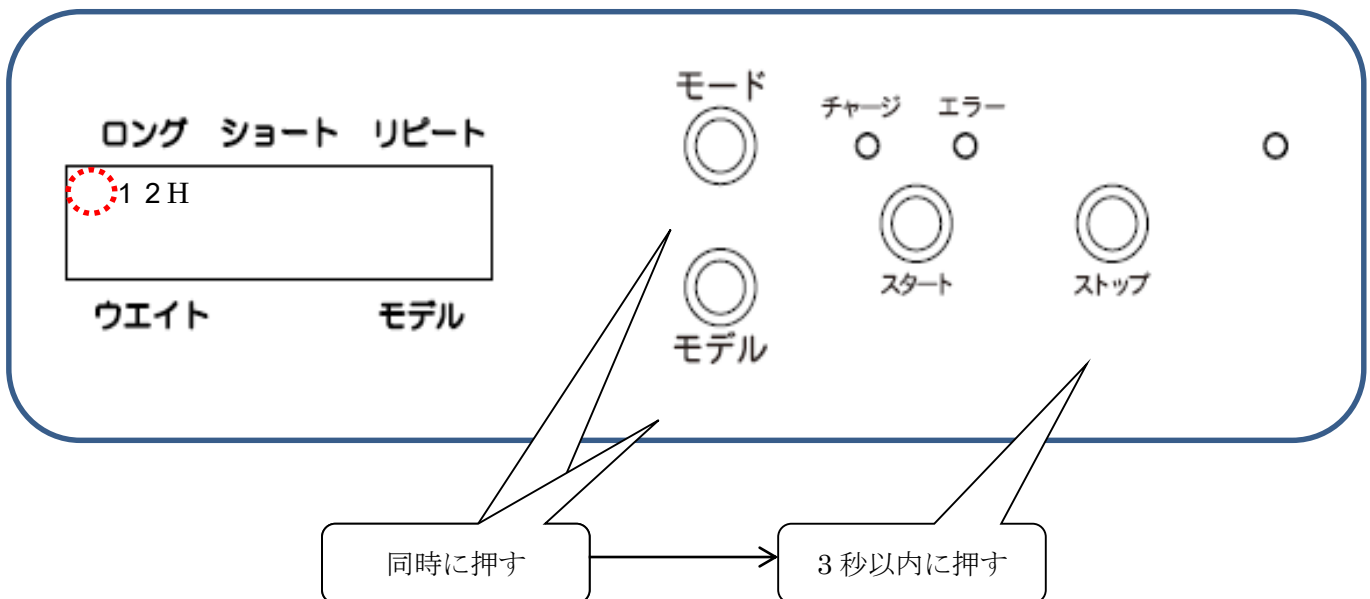
ロックがかかると画面左上にマークが表示されます。マークが表示している間はキー操作が無効になります。



●キーのロック（誤操作防止機能）の解除方法

ロックが有効状態時、モデル+モードスイッチを同時に押し3秒以内にストップスイッチを押してください。

ロックが解除されると画面左上のマークが消え、キー操作が有効となります。



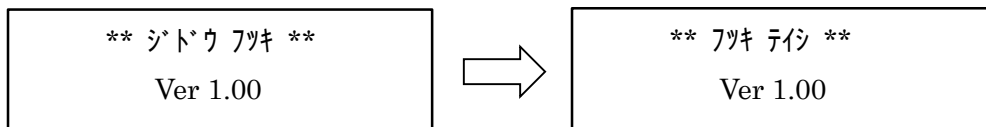
【停電後の自動復帰について】

- 充電動作中に停電が発生しても、停電復帰で自動的に前のモードではじめからリスタートします。

注意：タイマー予約時間を過ぎてからの停電復帰の場合は、充電は実行されません。

- 自動復帰の起動画面は、次のように表示されます。

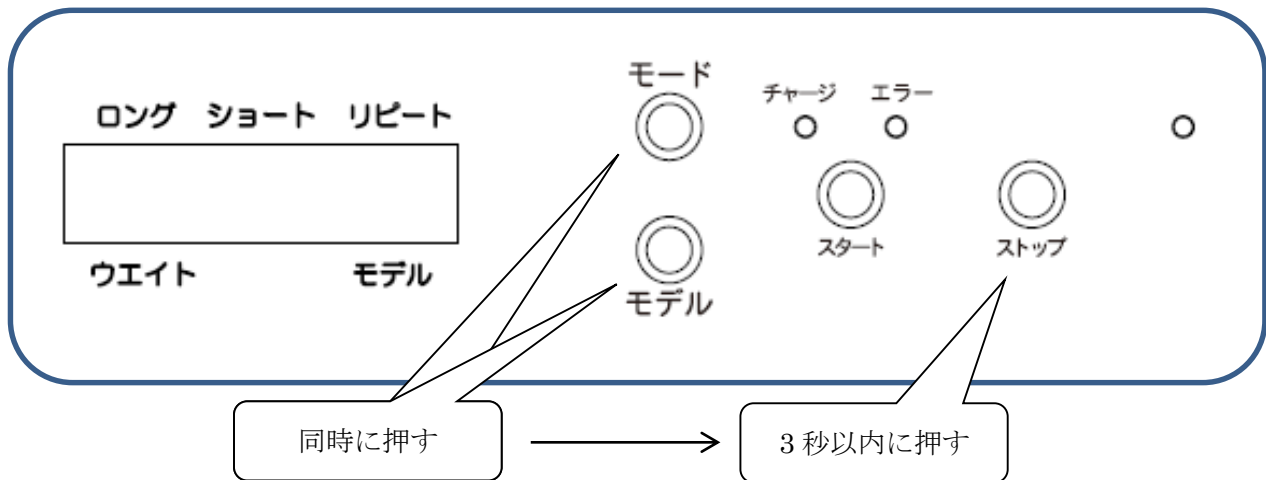
また、この起動画面表示中（3秒間）にストップスイッチを押すと、自動復帰を停止して待機状態で起動致します。



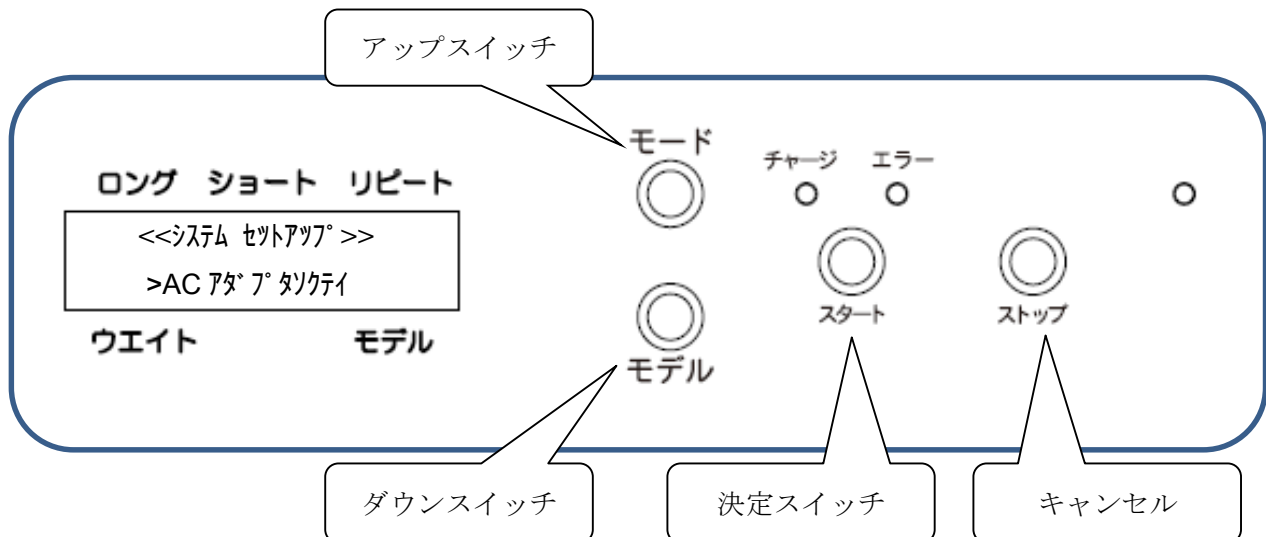
【システムセットアップについて】

●システムセットアップ画面への移行方法

待機状態で、モデル+モードスイッチを同時に押し3秒以内にストップスイッチを押してください。



●システムセットアップ画面の操作スイッチについて



●システム設定項目の内容

No.	名称	内容説明
1	ACアダプタソケット	ACアダプタの電流を測定します。
2	パラメータセッテイ	システムパラメータの設定を行います。
3	ミックスセッテイ	充電する端末の種類を混載する場合に設定します。
4	ヒツケセッテイ	内蔵時計の日付設定を行います。
5	ジヨクセッテイ	内蔵時計の時刻設定を行います。
6	モデル	前画面（待機状態）へ移行します。

【ミックス設定】 ※充電を行う際は、モデルでミックスを選択してください。

コンセント番号 (CH) ごとにスイッチバック充電のモデルを設定することができます。

※充電対象端末の種類が複数あり、同時に混載して充電する場合、必ずミックス設定を行ってください。ミックス設定を行わないと、スイッチバック充電が正常に作動せず、ブレーカー落ちや過充電を引き起こしてしまう可能性があります。

● 設定方法

システムセットアップから、ミックス セッテイを選択し、スタートスイッチを押して決定します。

<< システム セットアップ >>
> ミックス セッテイ

コンセント番号 1 から順に設定画面が表示されます。CH01 [タブレット] となっていますので、モードスイッチまたはモデルスイッチを押してモデルを「タブレット、モバイル、タブレットPC、スマートフォン」から選択し、スタートスイッチを押して決定します。

<< ミックス セッテイ >>
CH01 [スマートフォン]

上記の手順で、コンセント番号 1 から 22 まですべてのモードを選択します。

コンセント番号 22 (CH22) の画面でモデルの決定をすると、下のような画面が表示されます。

<< ミックス セッテイ >>
> ハイ イイ

「ハイ」にカーソル>を合わせて、スタートスイッチを押して設定完了です。(イイエを選択すると、CH01 の設定に戻ります。

※各種設定後は、システムセットアップメニューの選択する画面に戻るので、モデルを選択して待機画面に戻ってください。

<< システム セットアップ >>
> モデル

●現在設定されているミックス設定 (各コンセントのモデル設定) を確認する方法

システムセットアップから、パラメータ セッテイを選択し、スタートスイッチを押して決定します。

<< システム セットアップ >>
> パラメータ セッテイ

アップスイッチ (モードスイッチ) を押して、ミックス モデルを選択し、スタートスイッチを押して決定します。

<< パラメータ セッテイ >>
> ミックス モデル


それぞれのコンセントに現在設定されているモデルが表示されます。アップスイッチ・ダウンスイッチを押して、すべてのコンセント番号のモデルを確認してください。

<< パラメータ セッテイ >>
CH01 [スマートフォン]

キャンセル（ストップスイッチ）を押すと、前の画面に戻ります。

※ ミックス設定時の注意点

設定を行う際は予め各コンセントに接続する端末のモデルを決めておいてください。
モデルの設定は以下のルールに沿って行って下さい。

	CH1～CH5	CH6～CH9	CH10	CH11～CH22
	スマートフォン	タブレット PC	モバ イル	タブレット
	<p>連番で各モデルを設定します。設定する各モデルの数や、順序は自由に設定できます。 但し、モデルの種類ごとに連番に設定してください、 組み合わせ方法は様々です。お持ちの端末に合わせて設定してください。 (例： スマートフォン 5台 + タブレット PC 4台 + モバイル 1台 + タブレット 11台)</p>			
	CH1～CH5	CH6～CH11	CH12～CH17	CH18～CH22
	タブレット	スマートフォン	 タブレット	タブレット PC
	<p>モデルを設定した後、再度同じ種類のモデルは選択できません。</p>			

【日付・時刻の設定】

日付および時刻の変更ができます

●日付の変更

システムセットアップから、**ヒツケセッテイ** を選択し、スタートスイッチを押して決定します。

<< システム セットアップ >>
> ヒツケ セッテイ

モード／モデルスイッチを使い、年、月、日、曜日を設定し、スタートスイッチを押して決定します。

<< ヒツケ セッテイ >>
201 <u>6</u> / 03 / 01 TUE

変更確認の画面になるので、**M** にカーソルを合わせてスタートスイッチを押して変更完了です。

<< ジコク セッテイ >>
> M I I

●時刻の変更

システムセットアップから、**ジコクセッテイ** を選択し、スタートスイッチを押して決定します。

<< システム セットアップ >>
> ジコク セッテイ

モード／モデルスイッチを使い、時刻を設定し、スタートスイッチを押して決定します。

<< ジコク セッテイ >>
11:00:00

変更確認の画面になるので、**M** にカーソルを合わせてスタートスイッチを押して変更完了です。

<< ジコク セッテイ >>
> M I I

【パラメータ設定について】

本製品の内部設定の変更が可能な機能です。

●パラメータ設定項目について、次のような項目が設定可能です。

No.	名称	内容説明	初期値	設定範囲
1	キョウデンリユウ	本装置の許容電流値 (ブレーカの電流値を設定してください。)	10A	1~10A
2	AC デンアツ	定格入力の AC 電圧値	100V	100V※1
3	タンマツ	充電可能な端末数	22 台	22 台※1
4	ケイツクモード	各コンセントに流れる電流を計測する機能 (詳細は P15~をご参照ください)	OFF	
5	タブレット L	モデル選択：タブレットの急速充電電流値	270mA	1~750mA
6	スマートフォン L	モデル選択：スマートフォンの急速充電電流値	170mA	
7	PC タブレット L	モデル選択：タブレット PC の急速充電電流値	450mA	
8	モバイル L	モデル選択：モバイルの急速充電電流値	700mA	
9	タブレット M	モデル選択：タブレットの緩速充電電流値	200mA	No.5 より小さい値
10	スマートフォン M	モデル選択：スマートフォンの緩速充電電流値	80mA	No.6 より小さい値
11	PC タブレット M	モデル選択：タブレット PC の緩速充電電流値	300mA	No.7 より小さい値
12	モバイル M	モデル選択：モバイルの緩速充電電流値	400mA	No.8 より小さい値
13	タブレット S	モデル選択：タブレットの満充電電流値	50mA	No.9 より小さい値
14	スマートフォン S	モデル選択：スマートフォンの満充電電流値	30mA	No.10 より小さい値
15	PC タブレット S	モデル選択：タブレット PC の満充電電流値	50mA	No.11 より小さい値
16	モバイル S	モデル選択：モバイルの満充電電流値	50mA	No.12 より小さい値
17	プリタイム	プリチャージ充電時間	1 分	1~99 分
18	ポーリング L	ロングモード：ポーリング時間	1 分	
19	ポーリング S	ショートモード：ポーリング時間	1 分	
20	サンプル リング	端末間のサンプル リング 間隔時間	1500ms	100~9900ms ※100 単位で設定可能
21	タンマツカレント	未接続時の電流値	10mA	0~99mA
22	Err タイム	充電エラー：端末への急速充電時間超過時間	6 時間	0~99 時間※2
23	Err カレント	充電エラー：端末への過電流値	800mA	0~999mA※2
24	カレントテイク T	急激な電流低下が生じた場合に一時的に測定値を読まない時間	10min	0~99 分
25	カレントテイク A	1 回のポーリングでの電流低下の異常値	50mA	0~999mA
26	ミックスモデル	各コンセントのミックスモデル設定を表示する機能 (詳細は P26~をご参照ください)		
27	パラメータ カキコミ	パラメータの書込み		
28	パラメータ ショット	パラメータの初期化		

注意：※1 固定値の為、変更不可

※2 値を 0 に設定することで、エラーの判定を無効にすることができます。

※ライオン事務器 HP<取扱説明書ダウンロード>にて、タブレットのパラメータ電流値設定表を掲示しておりますので、ご参照ください。

【対応端末確認】

コンセントタイプの充電器が対象となります。

使用される充電器は端末購入時に付属品として同梱されているものをご使用ください。

設定モデル	端末名		充電アダプタ
タブレット MAX 12W	Apple 社製	iPad air2	5V/2.4A
		iPad air	5V/2.1A
		iPad	5V2.1A
	Lenovo 社製	MIIX2 8	5V/2A
		YOGA tablet	5V/2A
	ASUS 社製	MEMOPAD HD7	5V/2A
		MEMOPAD SMART	5V/2A
	Google 社製	NEXUS9	5V/1.5A
	NEC 社製	Lavie Tablet	5V/2A
		LIFE TOUCH	5V/2A
Sony 社製	XPERIA TABLET 10	5V/1.5A	
スマートフォン MAX 5W	SAMSUNG 社製	GALAXYS2 LTE	5V/1A
		GALAXY NOTE	5V/1A
		GALAXY S3 progre	5V/1A
	Fujitsu 社製	ARROWS X	5V/1A
	KYOCERA 社製	DIGNO 202K	5V/1A
	Sharp 社製	AQUOS PHONE	5V/1A
	Sony 社製	XPERIA UL	5V/1A
		XPERIA AX	5V/1A
	Xiaomi 社製	Redmi 1S	5V/1A
	Yamada-denki 社製	Every Pad II	5V/1A
	Google 社製	NEXUS7	5.2V/1.35A
	Apple 社製	iPad mini	5V/1A
		iPhone4	5V/1A
iPhone6		5V/1A	
iPhone6 Plus		5V/1A	
タブレット PC MAX 36W	Microsoft 社製	surface2	12V/2A
		surface pro3	12V/2.58A
	NEC 社製	VERSA pro	12V/3A
モバイル MAX 50W	Toshiba 社製	dynabook V714	19V/2.37A
		REGZA tablet AT830	19V/1.58A

2016.06 現在

【こんな時は・・・】

こんなときは	対処
端末の充電がうまくできない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 充電ケーブルが接続されていることを確認してください。 ■ ACアダプターが接続されていることを確認してください。 ■ 端末画面のバックライトが点灯していると正確な充電が行えない場合があります。充電中は電源を切っていただくか、バックライトを消してください。 ■ 充電中にアプリやOSの更新・ダウンロードが作動した場合、充電が正常に動作しない場合があります。その場合、充電中は電源を切っていただくか、接続を切ってください。
端末本体は 80%以上の充電量なのに、緩速充電にならない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ パラメータ設定で、設定しているモデルの「M」の値 (P29 の表の No.9～12) を、P15 「電流値の閾値の設定」の手順をご参照いただき、適正な値に変更してください。
装置は充電完了なのに端末本体は満充電 (100%) になっていない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ パラメータ設定で、設定しているモデルの「S」の値 (P29 の表の No.13～15) を、P15 「電流値の閾値の設定」の手順をご参照いただき、適正な値に変更してください。
エラーが多発する。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 個別 LED が赤点灯をしている場合。 LED と連動したポートの端末に異常な電流が流れています。 端末を取り外し、バッテリーなどに傷がないか確認してください。 携帯端末が異常の場合は各端末メーカーにお問い合わせください。 ■ 個別 LED が赤点滅をしている場合。 異常な長時間急速充電が続いていることを検知しています。 端末を取り外し、バッテリーなどに傷がないか確認してください。 ■ 装置設定 (P29 の No.22 「Err タイム」) が変更されている場合があります。 パラメータの初期化 (P29 の No.28 「パラメータリセット」) を行ってもう一度お試しください。 携帯端末が異常の場合は各端末メーカーにお問い合わせください。
ブレーカーが落ちる。	<ul style="list-style-type: none"> ■ モデル設定を確認してください。(P30 参照) モデル設定が合っていないとブレーカーが落ちる場合があります。 ■ パラメータ設定で許容電流の設定 (P29 の No.1 「キョウゲンリョウ」) を行ってください。 パラメータ設定の方法については、「システムセットアップについて」(P25) をご覧ください。
操作パネルに表示されている時間が正確でない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 時間の変更が可能です。「日付・時刻の設定」(P28) を参照してください。変更してもすぐに時間がずれてしまう場合は製品内の内部時計に異常がある可能性があります。その場合は販売店へご連絡ください。
ストップボタンを押しても充電を止められない。	<ul style="list-style-type: none"> ■ キーロックがされている可能性があります。自動で充電が止まるまでお待ちください。または、本体の主電源を一度切り、再度電源を入れ、3秒以内にストップボタンを長押ししてください。(※3秒が経過してしまうと、自動復帰されてしまい、直前のモードで充電を開始してしまいますのでお気を付けください。)

仕様	
品名	可動型タブレット充電収納保管庫
品番	SWB-22S
コード	918-80
本体	材質：スチール・粉体塗装（ホワイト）
天板	20mm 厚・木製（表面 パステルブルー）
扉	カギ付・ラッチ付 開扉時、本体側面にマグネットで固定
キャスター	φ75mm キャスター 4個 前2輪 ストッパー付
タブレット等収納端末	22 台収納
端末収納部 1 箇所あたり有効寸法	幅 35mm 奥行き 466mm 高さ 264mm
アダプター接続用 AC コンセント	22 個
電源コード	2m 1 本
最大定格 100V 50/60Hz	10A
外形寸法	幅 630mm 奥行き 550mm 高さ 1004mm
重量	約 68kg

【運用設定記録シート】

設定日： 年 月 日

本製品の各種設定を下記に記録しておけます。()内に丸を記入してください。

- ・モデルタイプ : ()タブレット, ()モバイル, ()タブレットPC,
()スマートフォン, ()ミックス

- ・充電モード : ()ロング ⇒充電時間指定 (4, 6, 8, 10, 12, 無制限)
: ()ショート ⇒充電時間指定 (1, 2, 3)
: ()リピート

- ・タイマー設定 : ()あり ⇒スタート時刻 : 時 分
: ()なし

- ・ミックス設定 : ()あり ⇒P35 のミックス設定記録シートへ記入
: ()なし

【パラメータ設定記録シート】

設定日： 年 月 日

※本製品のパラメータ設定を変更した値の記録を、下記の空欄に記述してください。保守対応時に必要となりますので、大切に保管してください。

No.	名称	内容説明	設定値	設定可能範囲
1	キョウデンリョウ	本装置の許容電流値 (ブレーカの電流値を設定してください。)	10 A	1~10A
2	AC デンアツ	定格入力の AC 電圧値	100V	100V※1
3	タンマツ	充電可能な端末数	22 台	22 台※1
4	ケイソクモード	各コンセントに流れる電流を計測する機能 (詳細は P15~をご参照ください)	ON / OFF	
5	タブレット L	モデル選択：タブレットの急速充電電流値	270 mA	1~750mA
6	スマートフォン L	モデル選択：スマートフォンの急速充電電流値	170 mA	
7	PC タブレット L	モデル選択：タブレット PC の急速充電電流値	450 mA	
8	モバイル L	モデル選択：モバイルの急速充電電流値	700 mA	
9	タブレット M	モデル選択：タブレットの緩速充電電流値	200 mA	No.5 より小さい値
10	スマートフォン M	モデル選択：スマートフォンの緩速充電電流値	80 mA	No.6 より小さい値
11	PC タブレット M	モデル選択：タブレット PC の緩速充電電流値	300 mA	No.7 より小さい値
12	モバイル M	モデル選択：モバイルの緩速充電電流値	400 mA	No.8 より小さい値
13	タブレット S	モデル選択：タブレットの満充電電流値	50 mA	No.9 より小さい値
14	スマートフォン S	モデル選択：スマートフォンの満充電電流値	30 mA	No.10 より小さい値
15	PC タブレット S	モデル選択：タブレット PC の満充電電流値	50 mA	No.11 より小さい値
16	モバイル S	モデル選択：モバイルの満充電電流値	50 mA	No.12 より小さい値
17	プリタイム	プリチャージ充電時間	1 分	1~99 分
18	ポーリング L	ロングモード：ポーリング時間	1 分	
19	ポーリング S	ショートモード：ポーリング時間	1 分	
20	サンプルリング	端末間のサンプルリング 間隔時間	1500 ms	100~9900ms ※100 単位で設定可能
21	タンマツカレント	未接続時の電流値	10 mA	0~99mA
22	Err タイム	充電エラー：端末への急速充電時間超過時間	6 時間	0~99 時間※2
23	Err カレント	充電エラー：端末への過電流値	800 mA	0~999mA※2
24	カレントレカ T	急激な電流低下が生じた場合に一時的に測定値を讀まない時間	10 min	0~99 分
25	カレントレカ A	1 回のポーリングでの電流低下の異常値	50 mA	0~999mA
26	ミックスモデル	各コンセントのミックスモデル設定を表示する機能		
27	パラメータ カキコミ	パラメータの書込み		
28	パラメータ ショキカ	パラメータの初期化		

注意：※1 固定値の為、変更不可

※2 値を 0 に設定することで、エラーの判定を無効にすることができます。

※ライオン事務器 HP にて、タブレットのパラメータ電流値設定表を掲示しておりますので、ご参照ください。

※グレーの文字色部分は変更可能な初期設定値です。

【ミックス設定記録シート】

設定日： 年 月 日

<< システム セットアップ >>

> ミックス セッテ

左記のシステムセットアップでミックスセッテをした場合は、
下記のチャンネルシートに各モデルの種類を記入してください。

チャンネル (c h)	端末モデル (いずれかのモデルを○で囲む)			
0 1	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
0 2	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
0 3	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
0 4	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
0 5	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
0 6	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
0 7	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
0 8	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
0 9	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
1 0	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
1 1	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
1 2	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
1 3	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
1 4	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
1 5	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
1 6	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
1 7	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
1 8	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
1 9	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
2 0	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
2 1	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン
2 2	タブレット	モバイル	タブレットPC	スマートフォン

※ミックス設定の詳細については、P26～をご照ください。



本社 〒164-0003 東京都中野区東中野2-6-11

お客様相談室

お問い合わせは下記のフリーダイヤルへ

TEL ☎ 0120-074416 FAX ☎ 0120-402539

お問い合わせは土日祝日を除く午前9時より12時、午後1時より5時とさせていただきます。

<http://www.lion-jimuki.co.jp>